



やまだいすみ
山田伊純

能楽師金剛流シテ方 金剛流宗家直門
公益社団法人能楽協会会員 京都能楽会所属
金剛流宗家金剛永謹のもと住込み修業を終え
独立を許される
初舞台は6歳にて「百萬」の子方を勤める
今までの主な開曲は「石橋」「乱」「望月」
同志社大学文学部卒業
内弟子修業中より能楽講座を催すなど積極的に
能楽普及につとめる



- ・平成元年 東京で生まれる
- ・平成6年 山田純夫のもと5歳にて稽古を始める
- ・平成7年 6歳にて能「百萬」金剛宗家の子方として初舞台を踏む
- ・平成18年 能「清経」ツレにて初面(初めて能面を掛ける)
- ・平成19年 金剛家の内弟子(通い)に入門する
- ・平成20年 能「猩々」にて初シテ(主役)を勤め、以後毎年シテを勤める
- ・平成22年 住み込みの修業を始める
- ・平成25年 能楽師の登竜門の一つ 半能「石橋」赤獅子を開曲(国立能楽堂)
京都のわぎ永々棟において自身初の能楽講座を主催する
- ・平成26年 重要文化財 今西家住宅(奈良県)にて仕舞「羽衣」奉納
- ・平成27年 国際交流基金主催のロシア展-楽歴代 茶碗の中の宇宙-
オープニング関連催事 であるモスクワ能公演の団員として参加
宗家より許しを得て稽古教室「純之会」を主宰
- ・平成28年 3月末日で住み込み修業を終える
4月に独立を許され、宗家より頂戴した芸名「伊純」に改める
能楽協会京都支部、京都能楽会に入会



能楽の普及のために企画主催した能楽講座のチラシの一部↓ (他にも依頼を受けて講師を勤めることもあり)



- ・平成29年 能楽講座「能よりまなぶ」第一回を開催
能楽大連吟 金剛流を結成、主宰
登竜門の一つ 能「乱」を抜く
- ・平成30年 登竜門の一つ 能「望月」を抜く
- ・平成31年(令和元年)
臨濟宗・興聖寺(京都市) 勧進能～みんなで守ろうー
一切経～にて、舞囃子「羽衣」シテを勤める

法華宗(真門流)圓修山・妙行寺(姫路市)にて令和元年・新天皇御即位<奉祝>妙行寺記念行事に参加し、
改元奉祝能として能「鶴飼」シテを勤める

- ・令和2年 金春流・金剛流・喜多流の下掛かり三流の会「ゆとりのかい」を結成する。
- ・令和3年 宝生会夜能 3月公演にて 宝生流より招待を受けて 能「葵上-梓之出-」シテを勤める

日本芸術文化振興会主催 能楽若手研究会
京都公演 -第30回記念 京都若手能にて能
「乱-和合之舞・置壺-」猩々を勤める
- ・令和4年 よろづや(ネットショップ)を開店する
令和二年に始めた「しるべさろん」を17回目より会場実施型のオンラインコンサートとして開始する
「なら芝能」にて能「舍利」シテを勤める予定